

力をあわせ、安心して住み続けられる街を

台風15号・19号により全国各地で大きな被害が occurred しました。

被災されたみなさんに、心からお見舞いを申し上げます。被災地への救済・支援に全力をつくします。



台風19号の竜巻被害にあった住宅(千葉県市原市)。流山市議団は10月17日、流山市へ台風対策の要請書を提出しました。

防災対策 防災ラジオの配布・補助創設を提案

全国的に猛威を振るった台風被害。市内では台風15号で30件を超える罹災証明(屋根などの一部損壊)を発行。19号では600人を超える方が避難所に駆け込みました。

流山市では市民千人当たりの職員数が県内で最も少なく、必要な物資や人員の配置が不十分な事態に。その結果、日本共産党の聞き取りには「防災行政無線が聞こえない。江戸川の水位がこんなに上昇したのに」「水や食料、毛布は持参し、自動車で来るなって、避難所に行けないよ」「避難所にいるのに、情報伝達がない」「養生テープがなくて、福祉避難所でも窓ガラスの飛散防止ができない」「避難所配置の市職員は防災服も着ないで、たった1~2人」「避難所になった学校には市職員が来ず、先生のみで対応」との声が次々と…。自然災害への常日頃からの備えが大きく問われました。

日本共産党は、国の補助金を活用し、防災ラジオの配布や購入への補助制度が流山市でも具体化できることを提起。その他にも、福祉避難所の増設、発電機等の備蓄の充足を9月議会で提案しました。



水位が上昇した江戸川

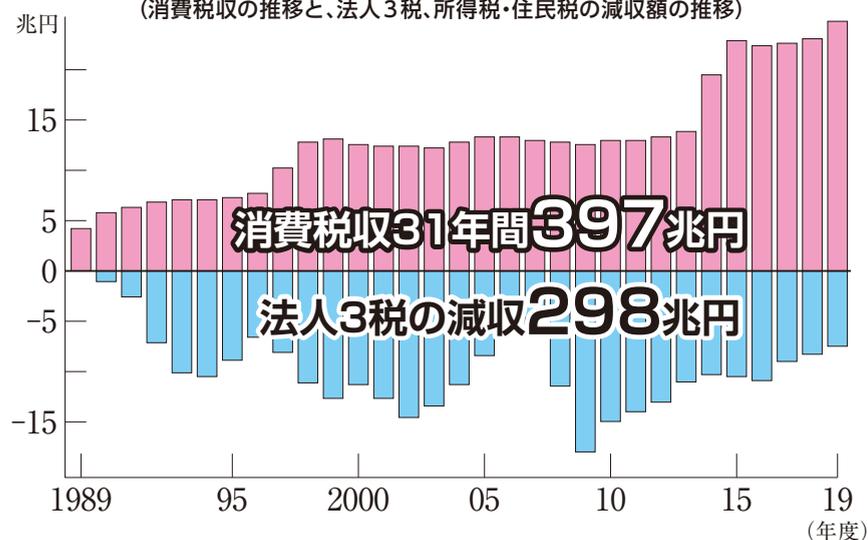
台風15号・19号 救援募金にご協力ください。

消費税 5%へ減税を

世論調査でも7割が経済の先行きを不安視する中、安倍政権は10月1日、消費税10%への増税を強行。中小店舗からは早くも「影響は想像以上」「9月末で閉店した」などの声が聞かれ、市は複数税率に対応するレジの準備状況もつかんでいません。

消費税が導入されて31年。消費税は、「社会保障のため」でも、「財政危機打開のため」でもありません。日本共産党は「消費税の廃止をめざし、緊急に5%に減税を」と呼びかけ、減税署名に取り組んでいます。

消費税は法人税・所得税減収の穴埋めに消えた (消費税収の推移と、法人3税、所得税・住民税の減収額の推移)



流山民報

2019年 10・11月号 NO.200

流山市加4-1688

TEL/FAX (7157) 6140

メールアドレス giindan@nagareyama-jcp.jp

ホームページ http://www.nagareyama-jcp.jp/

流山市議会 TEL (7158) 1111



ご意見・ご要望をお寄せください

バス交通 民間バス高齢者割引の創設を

消費税10%や物価高により高齢者のくらしは深刻です。また相次ぐ自動車事故の報道から免許返納も家族で話題に…。

「免許返納後も日常生活に支障が出ないように」「安い料金でバスを利用したい」…こうした声に応じて全国で高齢者割引制度が導入されています。流山市でも『ぐりーんバス』で導入(今年4月~)。日本共産党は「民間バスでも割引制度を」と提起し、行政や他党派に協働を呼びかけています。

また、バスが利用できる地域を拡大するよう、議会内外で取り組んでいます。

